2016 年 10 月 6 日

公益社団法人　静岡県作業療法士会
会員　各位

公益社団法人 静岡県作業療法士会
会長　秋山恭延
生活行為向上マネジメント推進委員
静岡県代表　村岡健史
公益社団法人 静岡県作業療法士会
MTDLP 委員長　尾崎勝彦

「生活行為の申し送り表による効果の調査」について（協力依頼）

謹啓　時下、皆様におかれましては益々ご清勝のことと存じます。
日頃より、公益社団法人静岡県作業療法士会（以下、県士会）の活動についてご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、今回、日本作業療法士協会の制度対策部より「平成 30 年度診療報酬・介護報酬同時改定に向けたデータベース蓄積について」の調査依頼が各県士会に届きました。

今後、リハビリテーションにおける「活動と参加」への具体的な成果を求める制度化の流れは、介護から医療領域に進むと予想されています。そして、生活行為向上に向けた医療施設での取り組みを途切れることなく介護施設へ申し送られることが望まれています。そこで日本作業療法士協会では、平成 30 年の医療・介護保険の同時改正に向け、協会単独要望として「生活行為の申し送り表」の制度化を検討しており、各県士会に協力依頼が届きました。静岡県作業療法士会としても調査に協力していきたいと思います。

つきましては、本調査に協力してくださる「医療施設：急性期・回復期・地域包括ケア病棟」、「介護保険系施設：通所リハ・通所介護・訪問リハ」の OT を募集いたします。本調査への協力をご検討していただける方は、10 月 15 日までに以下のアドレス（尾崎）までメール連絡をお願いします。調査手順の詳細をご連絡した後に承諾の有無をお聞きします。お忙しい中大変恐縮でございますが、ご高配賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

調査期間　2016 年 9 月 14 日～2017 年 1 月 31 日
調査内容　・生活行為の申し送り表
・アウトカム表（別紙 QOL 尺度を含む）
・「生活行為の申し送り表」の使用感（活用感）に関する調査　　等

＜問い合わせ先＞
市立御前崎総合病院　尾崎勝彦
ozakikatsu@yahoo.co.jp
※メールでの問い合わせをお願いします